

タラノキ立枯疫病はいつ頃から
動き出すのか？（簡易土壌診断法）

タラノキは本県の中山間地域において高齢者でも栽培できる冬期の軽量野菜として県西部を中心に栽培が増加していますが、タラノキ栽培において、タラノキ立枯疫病は大きな問題の1つです。そこでタラノキ立枯疫病による土壌の汚染の有無と菌の活動時期を明らかにするため、簡易土壌診断法の検討を行いました。

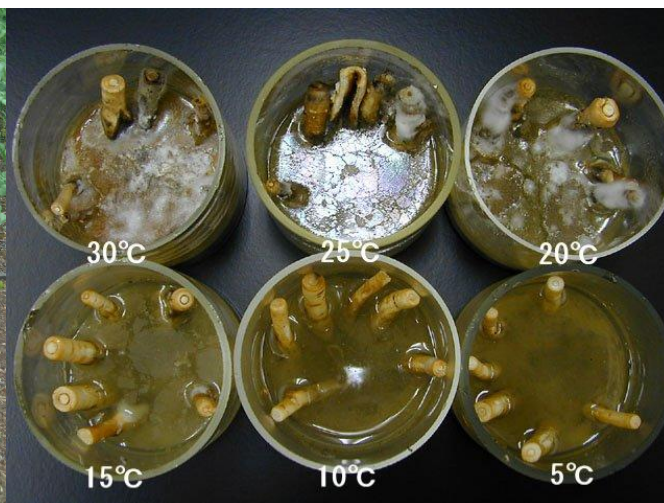
この簡易診断法は、採取した土に水を加えよく攪拌した後、健全なタラノキ根を長さ約5cmに切り80%エタノールで表面殺菌したものを入れ、20℃位の部屋に約5日間置いた後に病原菌の有無を判定するものです。

県内多発圃場から採取した土を調査した結果、タラノキ立枯疫病菌は少なくとも3月下旬からタラノキに対して感染できる状態であるということが解りました。

栽培圃場で本病が発生した場合や病原菌の発生が見られた場合は、リドミル粒剤2（既登録）で防除を行ってください。



第1図 タラノキ立枯疫病



第2図 タラノキ立枯疫病汚染土からの疫病菌捕捉状況

第1表 タラノキ圃場土壌からタラノキ立枯疫病菌が検出される時期

採土場所	検体植物の 変化	土 壌 採 取 月 日																						
		3/14	3/25	4/8	4/18	4/30	5/9	5/21	5/31	6/11	6/20	7/3	7/17	7/31	8/12	8/27	9/18	10/1	10/15	11/5	11/26	12/18	1/17	2/18
三好郡	植物体壊死	— ^注	+	+	+	+	+	+	+	±	+	+	—	—	+	±	—	—	—	+	+	—	—	+
三好郡	気中菌糸形成	—	+	+	+	+	+	+	+	—	+	+	±	—	+	±	—	—	—	+	+	—	—	+
三好郡	遊走子のう形成	—	+	+	+	+	+	+	+	—	+	+	—	—	+	—	—	—	—	+	+	—	—	+
三好郡	植物体壊死			+	+	+	+	+	+	±	+	+	+	±	+	—	+	—	+	+	+	+	+	+
三好郡	気中菌糸形成			+	+	+	+	+	+	—	+	+	+	±	+	—	+	—	+	+	+	+	+	+
三好郡	遊走子のう形成			+	+	+	+	+	+	±	+	+	+	—	+	—	+	—	+	—	+	+	+	+

注) —：観察されない ±：わずかに観察される +：観察される
培養温度は20℃ 1圃場当たり10個体供試

問い合わせ先

徳島県立農林水産総合技術支援センター 農業研究所 病害虫担当
TEL (0883) 24-2217 FAX (0883) 24-2305
<http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/nouken/>